

魅力あるキノコ山の造成！

- 林地へ菌を埋めてホンシメジが栽培できるか -

水谷和人

ホンシメジをご存じでしょうか。

ホンシメジは、昔から「香りマツタケ、味シメジ」と言われている食用キノコの王様です。生きている樹木の根に共生するキノコで、岐阜県ではアカマツを主体とした林に発生します。しかし、近年は林地での発生量が減少しています。



天然のホンシメジ

発生が減少した原因

アカマツの減少
手入れ不足のために混み合った林
林床に厚く堆積した落ち葉 など



混み合った林



厚く堆積した落ち葉

ホンシメジ栽培の作戦

山の環境を改善し、菌を埋めてキノコの発生を期待

埋めた菌は県内に自生していたホンシメジを人工の培養土で増殖させたもの。

作業の手順

ホンシメジが発生していない3 4年生の若いアカマツ林を対象に

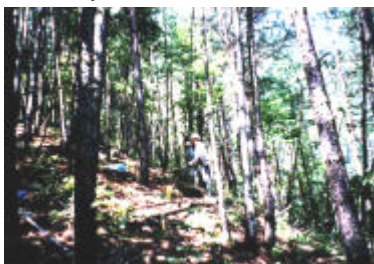
雑草木の刈り払い
林地にホンシメジの菌を埋める

厚く堆積した落ち葉の除去
ホンシメジの発生を調査

この作業が結構大変なんだ。

風通しが良くなった。

穴を掘って菌を埋めたら完了だ。



落ち葉の除去



環境改善後の林



菌を埋める

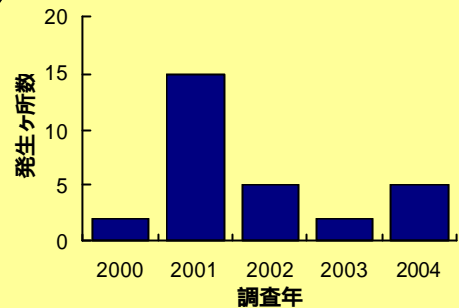
結果の概要

分かったこと

人為的にホンシメジの発生が可能
作業を行った秋から5年連続して発生
発生は2年目が最大



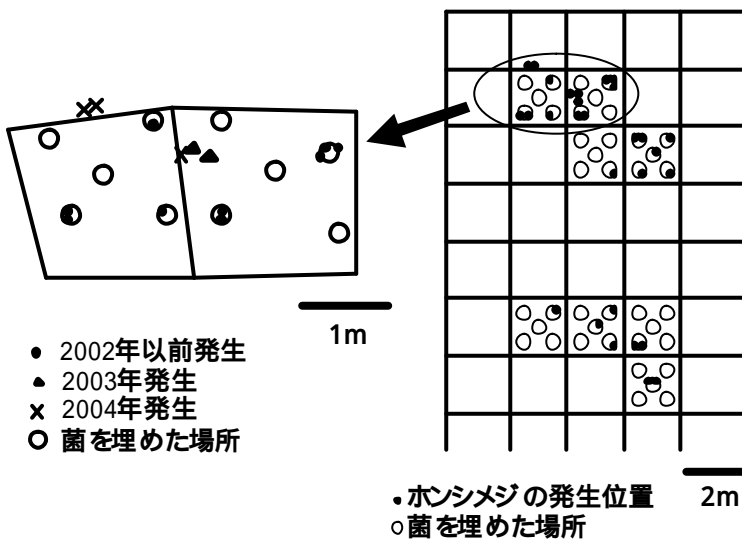
新たに発生したホンシメジ



ホンシメジの発生経過

菌は40ヶ所に埋設,発生は原基も含む

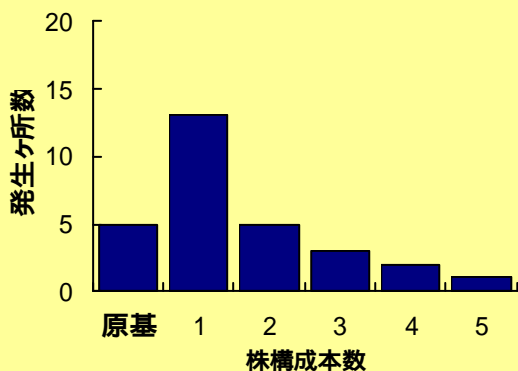
もう少し詳しく説明すると



環境整備地に菌を40ヶ所に埋めて、5年間に発生したキノコの位置を示した。

全部で29ヶ所に発生した。

発生したキノコのほとんどは、菌を埋めた場所の真上に位置したんだ。5ヶ所のみ、少し離れた位置から発生している。



発生したホンシメジの株構成本数

発生したキノコは小さくて、1本立ちが多く、天然のホンシメジに比較すると少し貧弱だ。